

⑤エキスパート（超上級）－（４）

コミュニティの運営方法

目標：コミュニティ運営に必要なものを知る

1. コミュニティ開設に必要なもの
2. コミュニティを続けるのに必要なもの
3. まとめ

1. コミュニティ開設に必要なもの

開設に必要なもの

- (1) 目的 (ゴール)
- (2) コンセプト
- (3) 交流するプラットフォーム
- (4) ファン



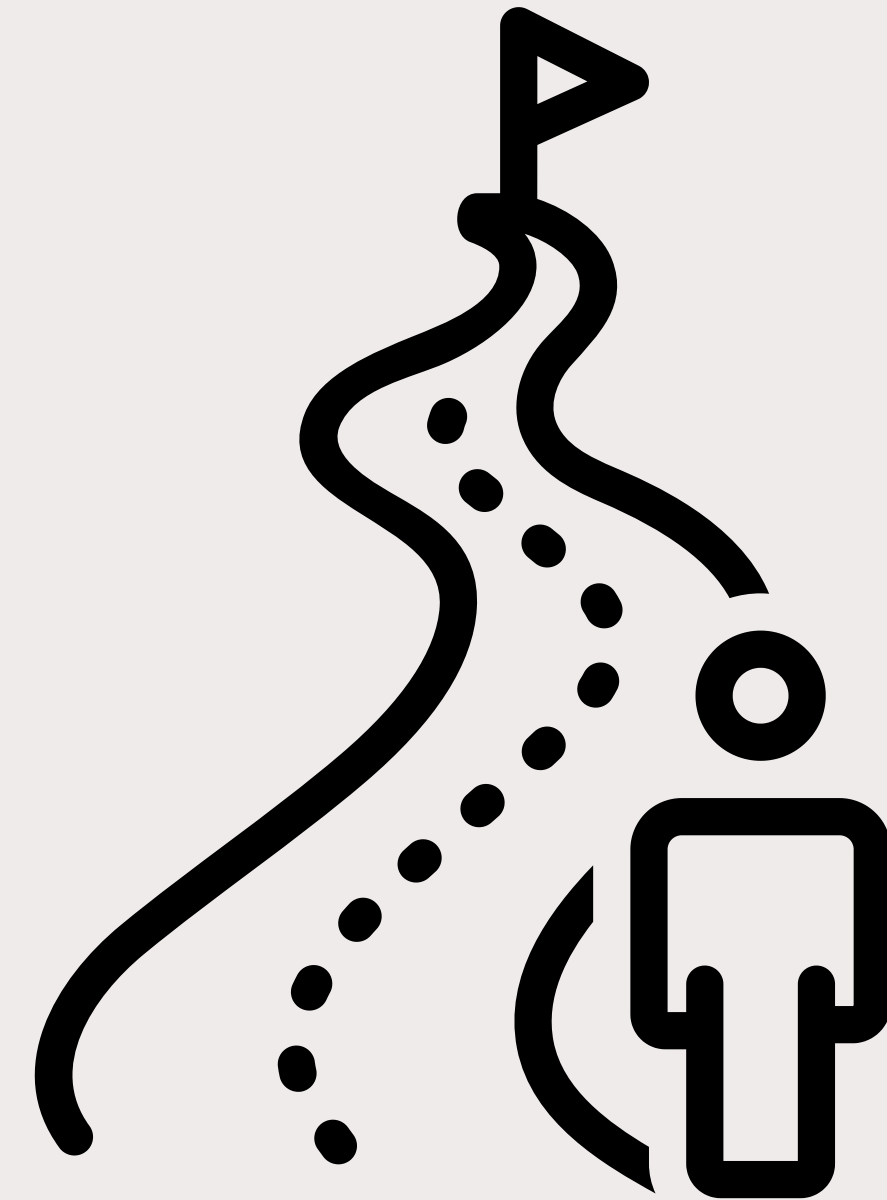
(1) 目的 (ゴール)

どのようなことを成し遂げるための場所なのか？
どこに到達したいのか？

これが決まらないと、規模や機能などの
設計がままなりません。

【いれぶん塾の目的】

日本の40代を元気にするための場所。
まずは1,000人のコミュニティを目指す。
NFTや書籍で盛り上げていく。
できない、やれない時の居場所にもする。



(2) コンセプト

基本的かつ統一的な考え方や視点

一貫性とわかりやすさが必要です。
迷わず舵取りができる指標になります。

【いれぶん塾のコンセプト】

Twitterをきっかけに3つの余裕
→最高の生き方を手に入れる。



(3) 交流するプラットフォーム

slack

Discord

BAND

LINE

facebook

など

プラットフォームごとに得て不得手がある。

【いれぶん塾のプラットフォーム】

LINE (オープンチャット)

↓

slack



(4) ファン

コミュニティオーナーそのものやコンテンツに価値が存在してファンが存在していないと、コミュニティに人が集まらない

【いれぶん塾の場合】
noteのユーザー（満足度）
↓
初期300名の入塾者



2. コミュニティを続けるのに必要なもの

続けるのに必要なもの

- (1) 定期的な情報発信
- (2) アクティブなメンバー
- (3) イベント
- (4) 挑戦（変化）
- (5) 交流
- (6) アウトプット



(1) 定期的な情報発信

コミュニティは生き物です。
主催者が定期的な情報発信をしないと
動かなくなります。
毎日、コラムや音声での発信で
考えや想いを伝えていかないと
熱が冷めてしまいます。
人間関係と同じ。



(2) アクティブなメンバー

主催者だけが動いていては
限界があります。
主催者の声を拡張してくれる
代弁してくれる、運営メンバー
アクティブに活動してくれる
コアメンバーが現れると
コミュニティは活性化します。



(3) イベント

同じことを繰り返していても人は飽きてしまいます。定期的に新しい催しやイベントを告知、実施することでアクティブな状態を保てます。イベントはカンフル剤になり、満足度も上がります。



(4) 挑戦 (変化)

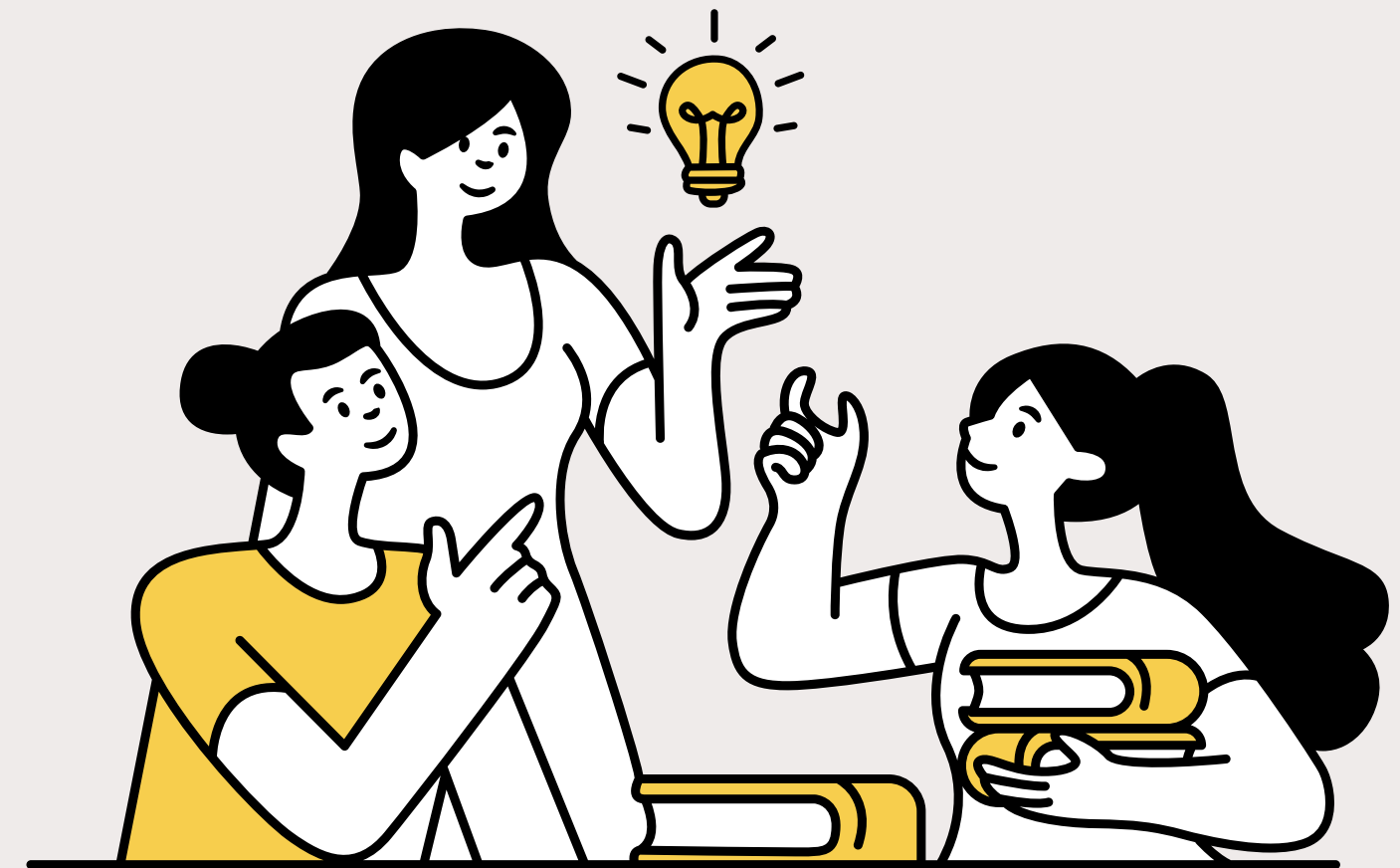
コミュニティオーナー、
また、コミュニティ自体が
新しい挑戦をし続ける。

そうすることで新たな
コンテンツが生まれます。
変化により、活性化します。



(5) 交流

コミュニティではその中での人間関係が価値になります。コミュニティ内での活発な交流を促していくことがコミュニティの活性化に繋がります。



(6) アウトプット

アウトプットすることによって
知識や経験は定着します。

参画意識も芽生えます。
参加者がアウトプットできる環境を
作っていくことがコミュニティの
活性化や定着率に繋がります。



3.まとめ

目標：コミュニティ運営に必要なものを知る

まとめ

ゴールとコンセプトとミッション

心のあるコミュニケーション

前回の課題

「2つの三角形を言語化する」

できましたか？

まだの方は、実行してください。

今回の課題

「Twitterをどう使っていくか？」

その成果をまた投稿してください。

アウトプットによって、定着します。

是非、実行してください！！

質疑応答